icTouch KEY

取扱説明書

第13版 2014年 7月 9日

株式会社 東光高岳

■はじめに

このたびは、Ethernet 接続型　FeliCa 対応リーダー／ライター(icTouch KEY)をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
本書は、お客様に本製品を安全で正しくお使いいただくためのものです。お使いになる前に、必ずお読みになり取り扱い方法や注意事項を十分に、ご理解いただいた上でご使用ください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

■使用上のお願い

（1） 本書の内容の一部または全部を無断で転載、複製、改変などをすることは、固くお断りします。
（2） 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更することがあります。
（3） 接続機器の故障／トラブルまたは、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは保証対象には含まれません。
（4） 本製品は日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外で使用した場合の運用結果につきましては、いかなる場合の責任も負いかねますのであらかじめご了承ください。
（5） 本製品は精密機器です。正しいご使用のために、本書を必ずお読みください。
（6） FeliCa はソニー株式会社の登録商標です。FeliCa はソニー株式会社が開発した非接触 IC カード技術方式です。
（7） icTouch は株式会社東光高岳の登録商標です。
その他に記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。本書では™、®、©などのマークは記載していません。

■安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。

●使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者が損害を追う可能性、または物的損害の発生が想定される内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。 △の近くに具体的な警告内容が描かれています。（例：⚠感電注意）
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：㊪分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：電源プラグを抜く）

⚠警告

強制	本製品を取り付け、使用する際は、必ず周辺機器メーカーが掲示する警告・注意指示に従ってください。
電源を切る	本製品の取り付け／取り外しをするときは、周辺機器の電源を切ってください。電源が入ったまま、取り付け／取り外しを行うと、感電及び故障の原因になります。
電源を切る	万一、異常な臭いや音がしたり、過熱や煙が出るといった場合は、ただちに使用をやめ、電源を切り、本製品をパソコン・周辺機器から取り外して、お買い上げの販売店までご相談ください。そのまま使用を続けると、火災、感電、故障の恐れがあります。
分解禁止	本製品を開けて内部の部品に触れないでください。感電の恐れがあります。また故障の原因にもなり、この場合は保証期間内であっても、保証できなくなりますので、ご注意ください。
接触禁止	端子部に手や金属で触れたり、針金等の異物を挿入しないでください。感電、故障の恐れがあります。

⚠注意

禁止	本製品を濡らさないでください。水などの液体がかかった場合は、発熱、感電、故障の原因となります。
強制	内部に異物（金属類や燃えやすい物、ほこり等）が入らないようにしてください。火災、感電、故障の原因となります。
禁止	雨、ちり、ほこりの多いところ、または高温多湿で結露しやすい場所では使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
水場使用禁止	風呂場など水が直接かかるところでは使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
禁止	直射日光の強いところや、炎天下の車内等、高温の場所で使用、放置しないでください。発熱、変形、故障の原因となります。
禁止	湿気やほこりの多いところ、または高温となるところには保管しないでください。故障の原因となります。
禁止	発熱する器具の近くでは使用しないでください。発熱、変形、故障の原因となります。
禁止	本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障、破損の原因となります。
禁止	ぐらついた台の上や、不安定な場所に置かないでください。落ちて故障やけがの原因となります。
強制	乳幼児の手の届かないところで使用／保管してください。けが、感電、故障の原因にとなります。
禁止	薬品が触れる場所や、薬品のそばでは使用しないでください。故障、変色あるいは変形の原因となります。また、ケース溶解による異臭、有害な気体が発生することがあります。
強制	本製品の廃棄については、各自治体の条例に従って分別廃棄してください。 詳しくは各自治体にお問い合せ下さい。

目次

１．ご使用になる前に 5
１.１.製品の特徴 5
１.２.梱包内容の確認 5
１.３.必要な環境 5
１.４.制限事項と注意事項 5
２．本製品の接続 6
２.１.各部の名称と機能 6
２.２.接続図 8
２.２.１.電気錠及び電源の接続 8
２.２.２.錠モニタ端子の接続 9
２.２.３.電源容量について 9
２.２.４.ネットワークの接続 10
３．基本設定 11
３.１.本製品とパソコンを接続する 11
３.２.パソコンの IP アドレスの設定 11
３.３.Windows XP での IP アドレスの設定 12
３.４.Windows 2000 での IP アドレスの設定 14
３.５.本製品の設定 16
４．その他 24
４.１.InternetExplorer のバージョンを確認する 24
４.２.Java のバージョンを確認する 25
４.３.動作モードについて 27
４.３.１.IDm 通知モードへの切替 27
４.３.２.標準モードへの切替 27
５．困ったときは 28
６．仕様 31
６.１.基本仕様 31
６.２.LAN ポートリンクランプ表示 31
６.３.外形寸法 32
６.４.取り付け方法 33
７．保証とお問い合せ 34
７.１.保証・修理について 34
７.２.お問い合せについて 34
７.３.障害発生時のサポートに必要な情報 34
７.４.お問い合せ先 34
付録 A. IDm 通知モード 35
付録 A.１.制御手順 35
付録 A.２.メッセージ通知と応答 37
付録 A.３.エラー通知 38

１．ご使用になる前に

１.１.製品の特徴

本製品は、Ethernet 接続型　FeliCa 対応リーダー／ライターをネットワークで接続し、電気錠の制御をする装置です。主な特徴は、次の通りです。

・FeliCa 技術対応の Ethernet 接続型リーダー／ライター装置
・FeliCa 技術に対応した各種カード／モバイル FeliCa／機器に対応
・10BASE-T／100BASE-TX インターフェース採用
・電気錠インターフェースを標準搭載
・解錠・施錠状態または解錠制御信号を出力

１.２.梱包内容の確認

お買い求めいただきました icTouch KEY には次のものが梱包されています。
箱から取り出しすべて揃っているか確認してください。

icTouch KEY 本体・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１台
はじめにお読みください（ご案内書）・・・・・・・・・・・・１枚
保証書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１枚

※LAN ケーブル･電源は、別途ご用意ください。

１.３.必要な環境

システム要件

・TCP/IP ネットワーク
・OS(Windows2000 SP4 以上 /XP SP2 以上)
・Web ブラウザ(Internet Explorer 6.0SP1 以上, Sun Java 1.4.1_02 以上)

注意：本製品を設定するには IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイなどのネットワーク知識が必要です。

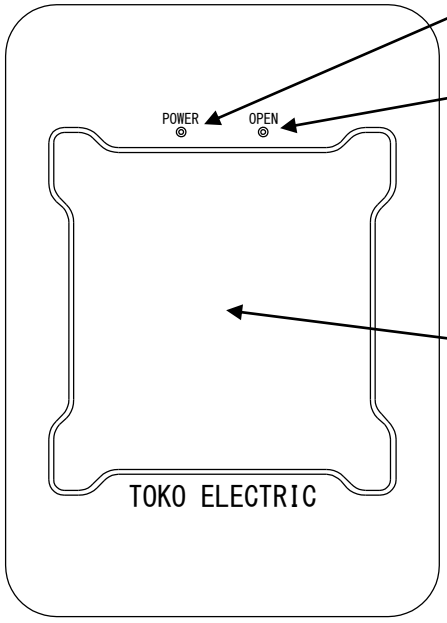
１.４.制限事項と注意事項

・本製品は FeliCa の暗号無しカードのみリードライトすることができます。
・２枚以上のカードを同時にリードライトすることはできません。
・対応 OS の全てのパソコンについて動作を保証する物ではありません。ハードウェア、ソフトウェアの組合せによっては、条件を満たしていても正常に動作しない場合があります。
・本製品の設置環境によっては、正常にリードライトできない場合があります。
・本製品は美和ロック株式会社のＡＵＴ／ＡＵＴＡ／ＡＵＲ／ＡＵＲＡシリーズ電気錠で、動作を確認しております。その他の電気錠についてはご相談下さい。
・FeliCa の技術的質問については、ソニー株式会社との機密保持契約により、いかなる質問に対しても、お答えすることはできません。

２．本製品の接続

２.１.各部の名称と機能

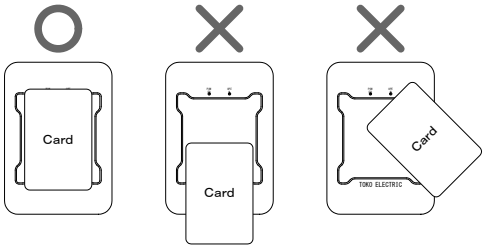
表面部



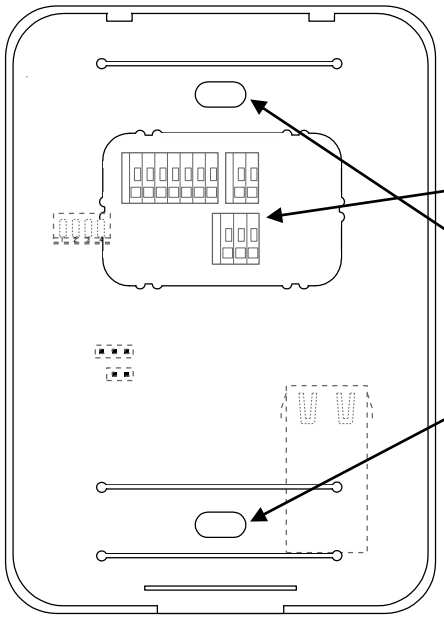
POWER ランプ(緑色)
電源が ON の状態で点灯します。

解錠ランプ(橙色)
解錠時に点灯します。

カード読み取り部
カードをかざして読み取る部分です。本体よりカードがはみ出さないようにかざしてください。



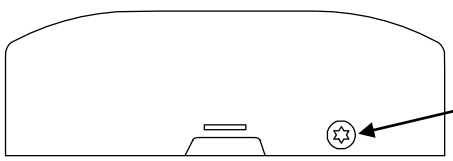
裏面部



通線口
電気錠･電源･LAN ケーブルの配線をここより行います。

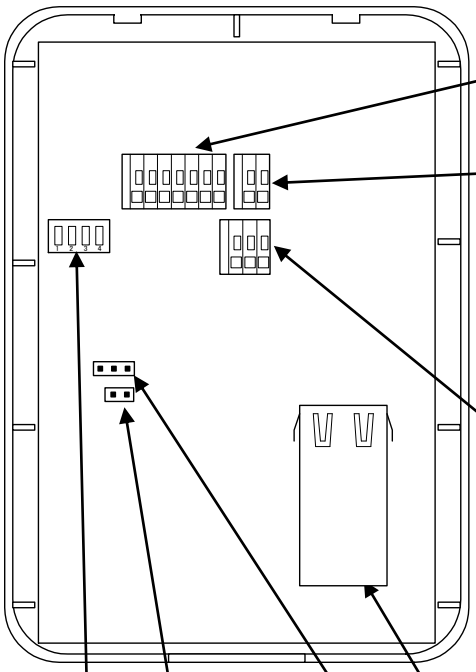
取り付け穴
ケースを壁面等に固定する際に使用します。

底面部



ケース固定ネジ
ケースの開閉を行う場合、取り外してください。
※ネジはヘクサロビュラネジ(M2.6 SUS×7)を使っています。
・推奨ドライバー
メーカー：ＨＯＺＡＮ
品名　　：トルクスドライバー
型式　　：D-720-5

裏面部(カバー開状態)



電気錠接続端子
電気錠を接続します。

電源端子
電源を接続します。(電源電圧 DC24V)

錠モニタ端子
解錠・施錠状態や解錠制御信号出力の状態が出力されます。
機能は設定スイッチ（SW1-3）により変わります。

SW1-3	無電圧ａ接点
ON	解錠：ON 施錠：OFF
OFF	解錠制御信号

※１　信号はリレー接点出力となります。
（「２．２．２．錠モニタ端子の接続」をご参照下さい。）
※２　無電圧ｂ接点は無電圧ａ接点に対して逆の出力になります。

LAN ポート(10BASE-T/100BASE-TX)
LAN ケーブルを接続します。

ＪＰ２
2-3 固定です。(変更しないでください)

ＪＰ３
1-2 固定です。
(変更しないでください)

設定スイッチ(SW1)

扉閉状態での解錠時間、出力端子論理設定及び、ソレノイド出力論理設定

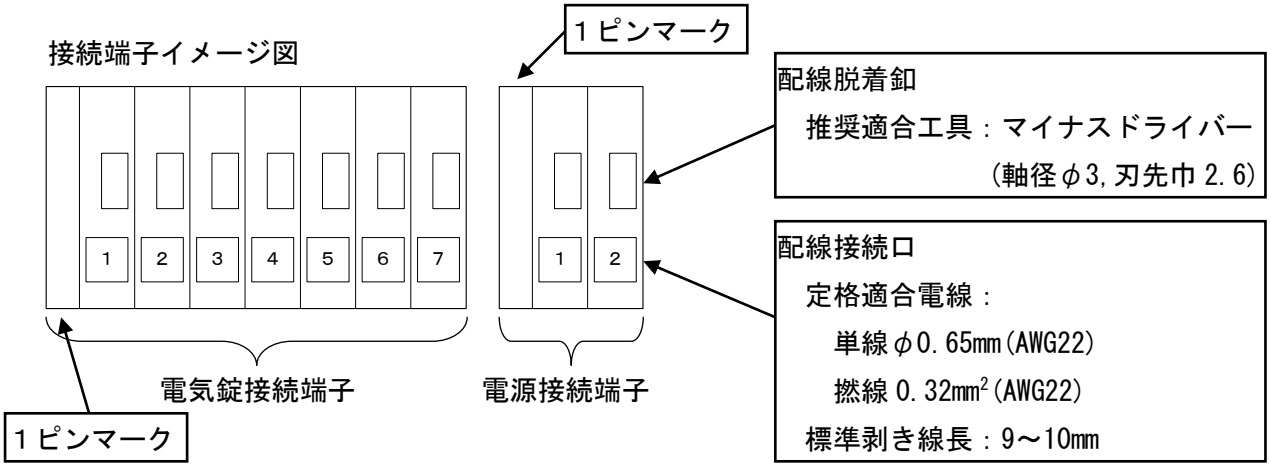
No	機　　能	備　　考
1	解錠保持時間 10 秒	ﾈｯﾄﾜｰｸより解錠命令が送られた際、設定された解錠時間内に扉を開けない場合、自動で施錠されます。 解錠時間は、ON になっているｽｲｯﾁの合計時間が設定されます。 全て OFF の場合、ﾈｯﾄﾜｰｸより施錠命令が送られて来るか、扉を一度、開閉するまで解錠状態が保持されます。
2	解錠保持時間 20 秒	
3	外部出力論理	ON　：解錠・施錠状態出力 OFF：解錠制御信号 出力
4	ｿﾚﾉｲﾄﾞ出力論理	ON　：施錠時ｿﾚﾉｲﾄﾞ+24V 出力 OFF：解錠時ｿﾚﾉｲﾄﾞ+24V 出力

※ SW1 の No4 を ON にした場合、電源投入から SW1 の No1,2 で設定された時間だけ解錠状態となり「施錠時ｿﾚﾉｲﾄﾞ+24V 出力」を知らせます。

２.２.接続図

２.２.１.電気錠及び電源の接続

釦を押しながら配線を配線接続口に挿入し、釦を放すと配線は固定されます。



電気錠接続端子ピンアサイン

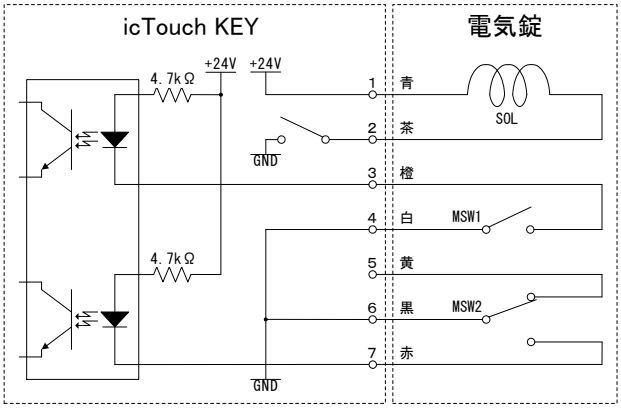
Pin No	I/O	信号名
1	O	ソレノイド（+24V 出力）※
2	O	ソレノイド COM
3	I	扉閉
4	I	扉閉 COM
5	I	解錠
6	I	錠 COM
7	I	施錠

電源接続端子ピンアサイン

Pin No	I/O	信号名
1	I	+24V 入力
2	I	GND

※ 電源容量については「２．２．３.電源容量について」をご参照下さい。
※ ソレノイドの定格容量は DC24V,max0.4A です。

等価回路（美和ロック株式会社ＡＵＴ／ＡＵＴＡ／ＡＵＲ／ＡＵＲＡシリーズ電気錠の場合）



SOL ：ソレノイド（解錠／施錠動作）

MSW1：マイクロスイッチ（扉開閉信号）
扉閉 ON

MSW2：マイクロスイッチ（施解錠信号）
黄-黒：解錠 ON
赤-黒：施錠 ON

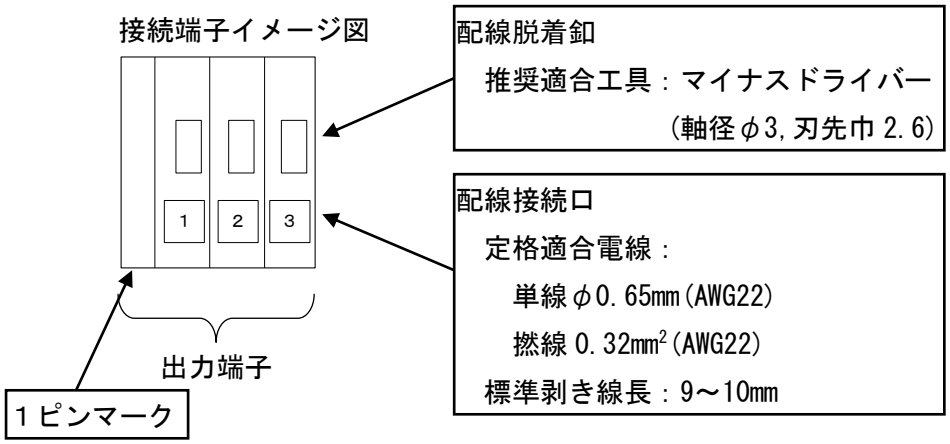
注 1)ソレノイドの ON/OFF は、COM 側で行っている為、Pin1 には、常時 DC+24V が出力されていますので、注意してください。

注 2)電気錠接続端子の 5Pin は使用していません。

注 3)上記型式以外の電気錠を使用される場合には、事前に当社へ連絡願います。

2.2.2.錠モニタ端子の接続

釦を押しながら配線を配線接続口に挿入し、釦を放すと配線は固定されます。

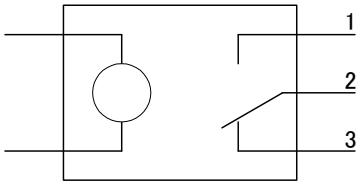


接続端子ピンアサイン

Pin No	I/O	信号名
1	O	無電圧ａ接点出力
2	O	出力 COM
3	O	無電圧ｂ接点出力

※無電圧ｂ接点出力は無電圧ａ接点出力の状態が反転出力されます。

リレー回路



注 1)出力の詳細については

「２．１.各部の名称と機能－裏面部(カバー開状態)－[錠モニタ端子]」

をご参照してください。

注 2)接点の定格容量は無電圧ａ接点、無電圧ｂ接点共に DC24V,max0.5A です。

2.2.3.電源容量について

電源の容量は本機の消費電流(max 0.2A)とソレノイドの消費電流を考慮してください。

電源から本機までの配線は電圧降下を考慮し十分な太さとしてください。(本機の定格は DC24V±10%)

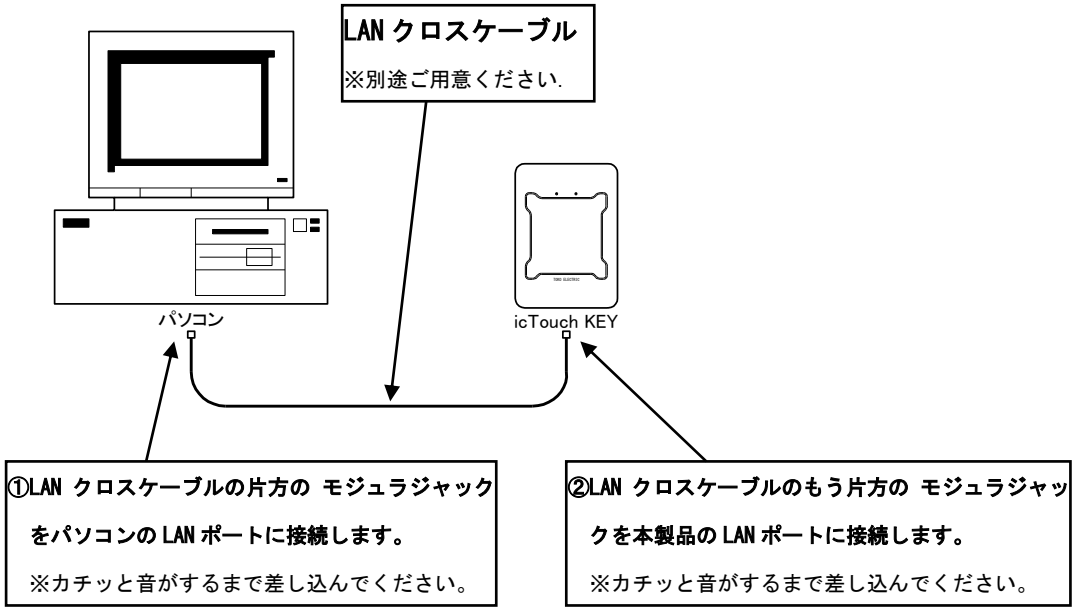
２.２.４.ネットワークの接続

LAN ケーブルを接続する際は、裏蓋を外して行って下さい。

本製品の接続には、パソコンと直接１対１で接続する方法と、ハブを経由して接続する方法があります。

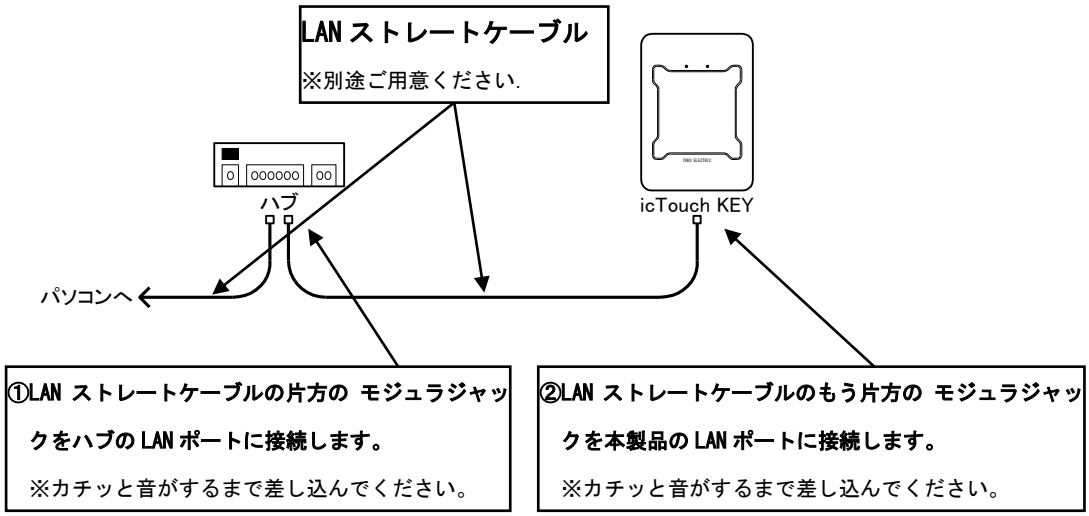
●パソコンと１対１で接続

パソコンと１対１で、ネットワーク接続する際、別途 LAN クロスケーブルをご用意ください。



●ハブを経由して接続

ハブを経由してパソコンと、ネットワーク接続する際、別途 LAN ストレートケーブルをご用意ください。



３．基本設定

ここでは、本製品の設定画面を起動する方法と、設定方法について、順を追って説明します。
設定には以下のソフトウェア、及びLANケーブルが必要となります。

・必要なソフト※

Internet Explorer 6.0SP1 以上
Sun Java 1.4.1_02 以上

※インストールされているか分からない場合は、「４．その他」をご参照してください。

・必要なLANケーブル

「**２．２．４．ネットワークの接続**」をご参照してください。

３.１.本製品とパソコンを接続する

「**２．２．４．ネットワークの接続**」をご参照し、本製品をパソコンと接続してください。

注意：設定が終了するまでは、他のネットワークには接続せず、icTouch KEYとパソコンが1対1の独立したネットワークとしてください。

３.２.パソコンのIPアドレスの設定

以下の手順で本製品のIPアドレスを設定します。使用されているOSにより方法が異なります。
使用されているOSの手順を行ってください。

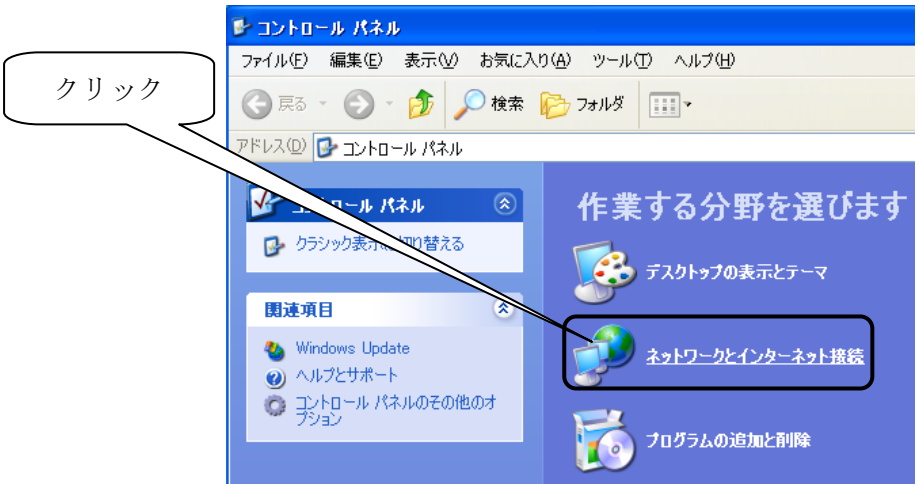
・Windows XPを使用されている場合　⇒　「**３．３.Windows XPでのIPアドレスの設定**」
・Windows 2000を使用されている場合　⇒　「**３．４.Windows 2000でのIPアドレスの設定**」

3.3.Windows XP での IP アドレスの設定

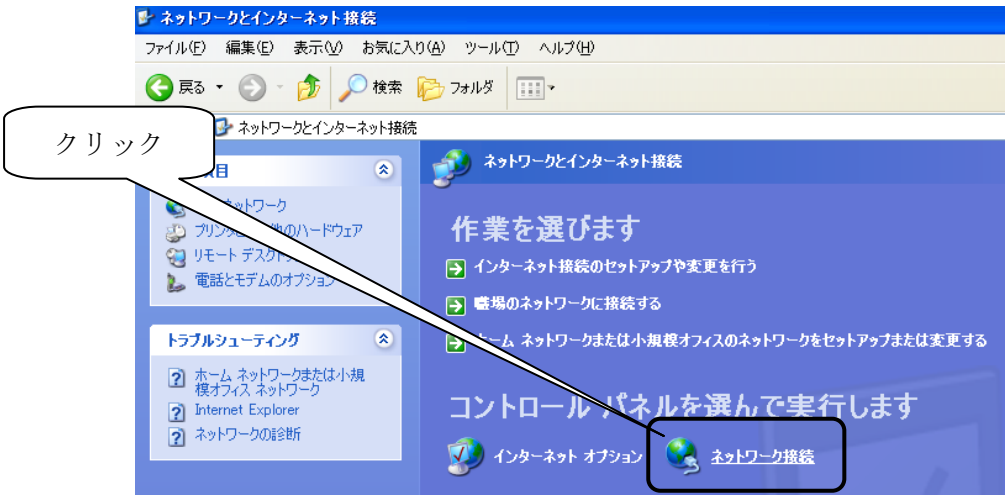
①コンピュータの管理者のアカウントでログオンします。

②「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。

③「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。

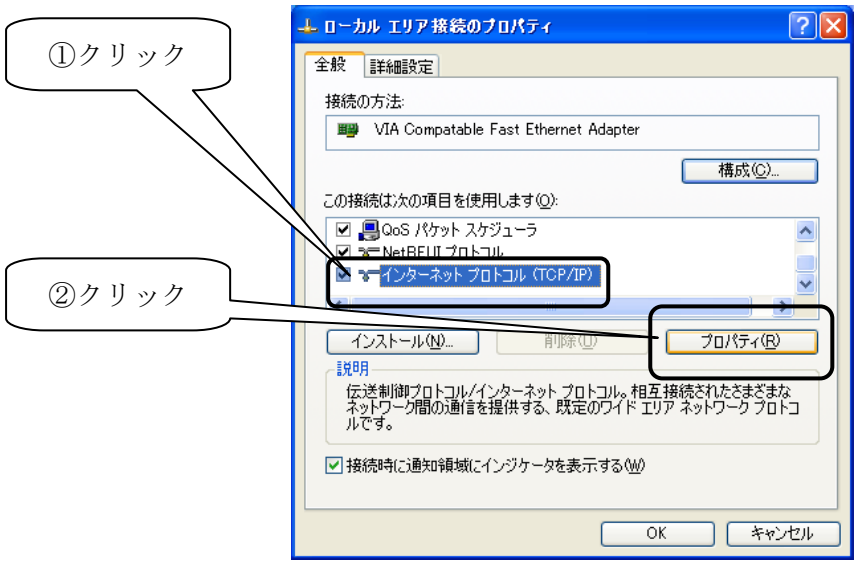


④ウインドウの中にある「ネットワーク接続」をクリックします。



⑤「ローカルエリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。

⑤「インターネットプロトコル（TCP／IP)」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。



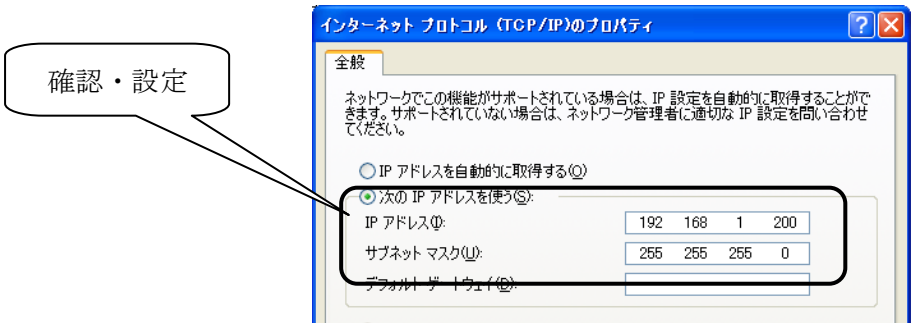
⑥設定用 PC の IP アドレスを確認し、メモしておきます。

注意：icTouch KEY を設定した後に、元の IP アドレスに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。

⑦設定用 PC の IP アドレスを一時的に以下の値に変更します。

・IP アドレス：192.168.1.200

・サブネットマスク：255.255.255.0



⑧設定したら「OK」ボタンをクリックし、PC を再起動させます。

再起動が終わりましたら、「３．５．」へお進みください。

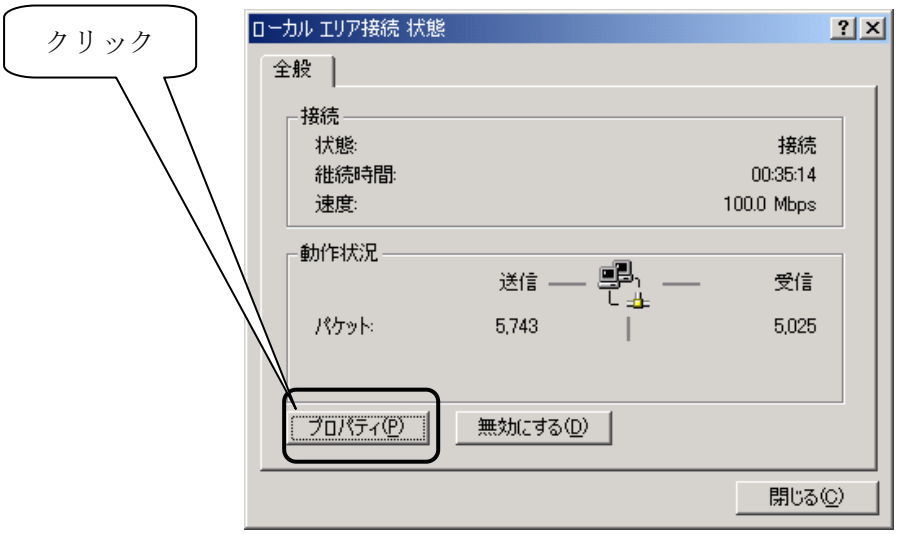
3.4.Windows 2000 での IP アドレスの設定

①Administrator 権限で Windows2000 にログオンします。

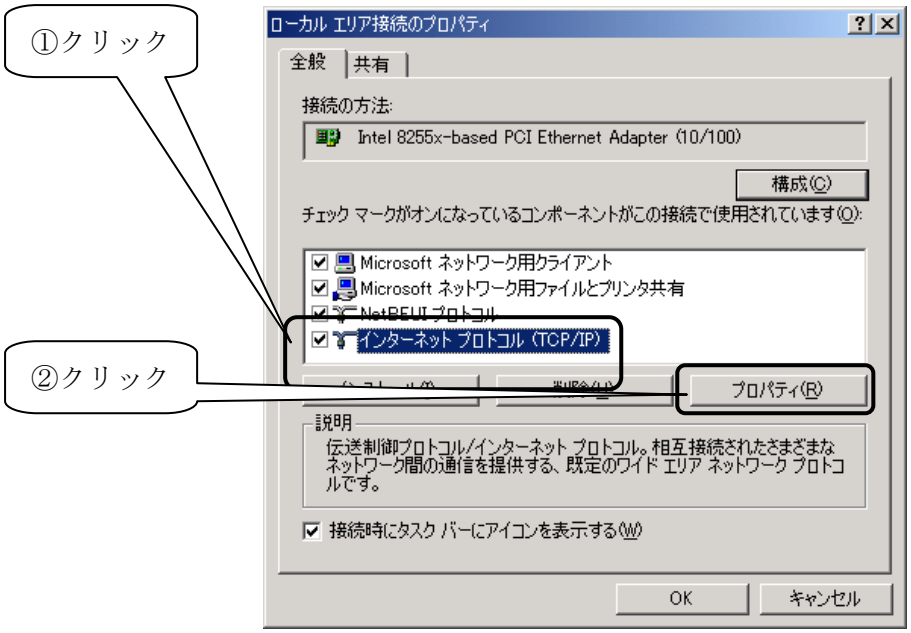
②「スタート」ボタンをクリックし、「設定」→「ネットワークとダイヤルアップの接続」を選びます。

③「ローカルエリア接続」をダブルクリックします。

④「プロパティ」をクリックします。



⑤インターネットプロトコル(TCP／IP)」をクリックし、「プロパティ」ボタンをクリックします。



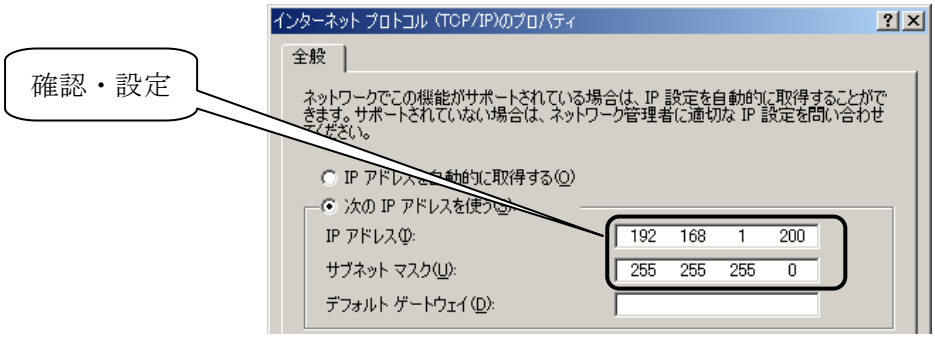
⑥設定用 PC の IP アドレスを確認し、メモしておきます。

注意：icTouch KEY を設定した後に、元の IP アドレスに戻す必要がありますので、必ずメモしてください。

⑦設定用 PC の IP アドレスを一時的に以下の値に変更します。

・IP アドレス：192.168.1.200

・サブネットマスク：255.255.255.0



⑧設定したら「OK」ボタンをクリックし、PC を再起動させます。

再起動が終わりましたら、「３．５．」へお進みください。

３.５.本製品の設定

①Internet Explorer を起動して以下のアドレスを入力し「Enter」キーを押します。

http://192.168.1.100/

②しばらくすると、設定画面が表示されます。

注意：設定画面が表示されない場合は「５．困ったときは」を参照してください。

各項目の意味は次の通りです。

設定項目	意味	初期値
IP アドレス	本製品の IP アドレスを指定します。	192.168.1.100
サブネットマスク	本製品の属するネットワークアドレスを識別するためのマスク値を指定します。	255.255.255.0
デフォルト ゲートウェイ	ゲートウェイの IP アドレスを指定します。 不要な場合は、0.0.0.0 を指定します。	0.0.0.0
IDm 通知	本製品の動作モードを指定します。 ・チェックしない ⇒　標準モード ・チェックする　⇒　IDm 通知モード 動作モードについての詳細は、『4.3.動作モードについて』をご参照下さい。	チェックしない （標準モード）
通知先 IP アドレス	FeliCa カードを検出した時にメッセージを送る相手先の IP アドレスを指定します。(IDm 通知モードのみ)	（なし）
通知先ポート番号	FeliCa カードを検出した時にメッセージを送る相手先のポート番号を指定します。(IDm 通知モードのみ)	（なし）
システムコード	対象とする FeliCa カードのシステムコードを 16 進数 4 桁で指定します。(IDm 通知モードのみ)	（なし）
メッセージ フォーマット	FeliCa カードを検出した時に通知するメッセージフォーマットを指定します。(IDm 通知モードのみ) メッセージには、半角の英数記号、空白文字を使用できます。(最大 125 文字) また、以下の文字列は送信時に特定の値に置換されます。(置換後の文字列の最大長は 256 文字) ¥A　本製品の IP アドレス (ドット区切り 10 進表記) ¥H　本製品の MAC アドレス（16 進数 12 桁） ¥I　検出したカードの IDm（16 進数 16 桁） ¥P　検出したカードの PMm（16 進数 16 桁） ¥r　CR（復帰、0x0D） ¥n　LF（改行、0x0A） ¥¥　¥（円記号、0x5C）	（なし）
現在のパスワード	設定変更するためのパスワードを入力します。	root
新しいパスワード 新しいパスワード (確認)	パスワードを変更する場合、新たなパスワードを入力します。 確認のため同じパスワードを 2 箇所に入力します。 パスワードは半角 4 文字で指定します。 ※パスワードを変更しない場合は、入力してはいけません。	（なし）

IDm 通知モードにした場合、詳細タグが有効になり、選択すると次のような画面が表示されます。

各項目の意味は次の通りです。

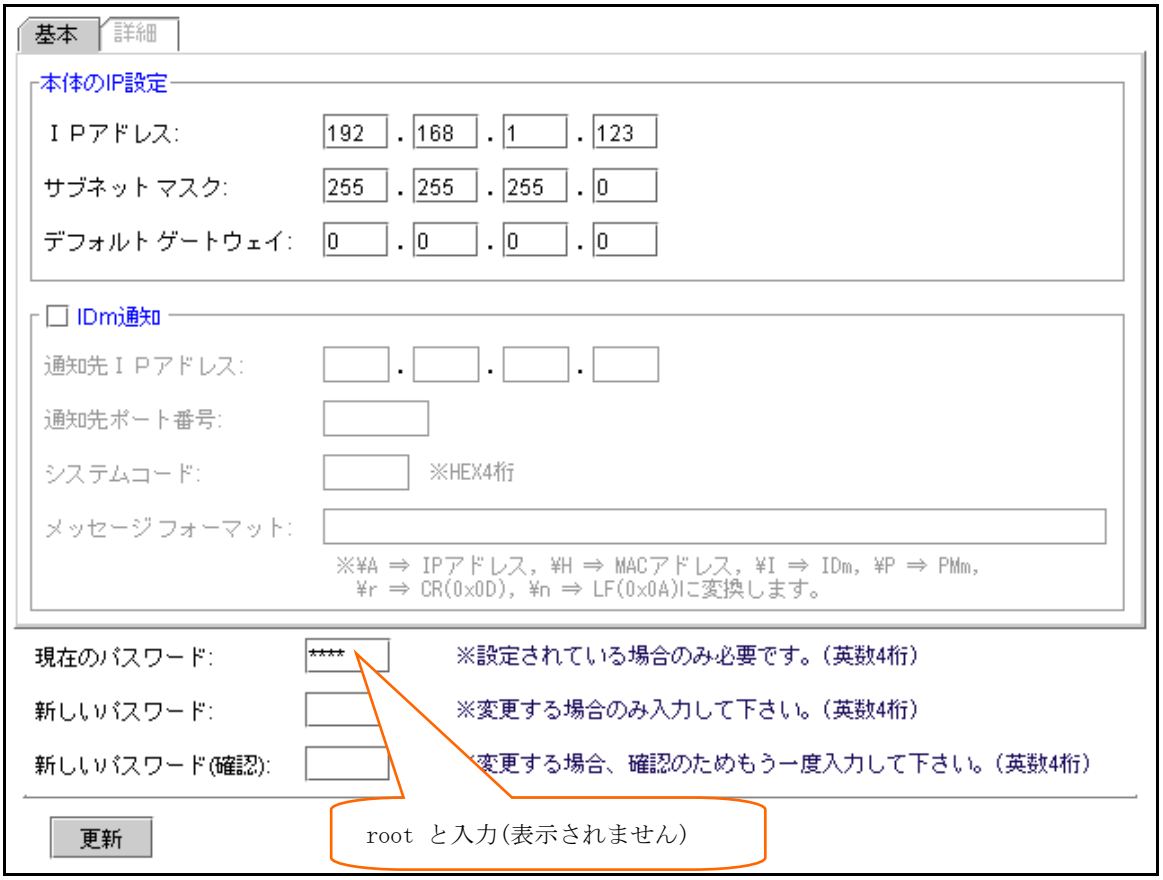
設定項目	意味	初期値
カード検出時 LED(ブザー)	カードを検出した時に、LED(ブザー)を点灯（鳴動）するか、しないかを選択します。	点灯する（ブザーを鳴らす)
最大接続待ち時間	TCP/IP の接続待ち時間の最大値を 100ms 単位で指定します。	100(10 秒)
接続エラー時ブザー鳴動回数	TCP/IP の接続ができなかった時に、ブザーを鳴らす回数を指定します。	2 回
最大応答待ち時間	TCP/IP にてメッセージを送信した後の、応答待ち時間の最大値を 100ms 単位で指定します。	80(8 秒)
無応答時ブザー鳴動回数	TCP/IP にてメッセージを送信した後に応答が返って来なかった時に、ブザーを鳴らす回数を指定します。	3 回
'OK'応答時ブザー鳴動回数	TCP/IP にてメッセージを送信した後に肯定応答が返って来た時に、ブザーを鳴らす回数を指定します。	0 回
異常応答時ブザー鳴動回数	TCP/IP にてメッセージを送信した後に否定応答が返って来た時に、ブザーを鳴らす回数を指定します。	0 回
出荷時の設定に戻す	詳細設定項目を初期値に再設定します。 （基本設定項目およびパスワードは変更しません)	
現在のパスワード	設定変更するためのパスワードを入力します。	root
新しいパスワード	パスワードを変更する場合、新たなパスワードを入力します。 パスワードは半角 4 文字で指定します。 ※パスワードを変更しない場合は、入力してはいけません。	（なし）

③設定値を入力します。

【設定例１】

標準モードに設定します。
本モードでは、ネットワーク経由で接続されたコントロール装置（パソコン）から、カードの検出・読取り・書込みを制御します。

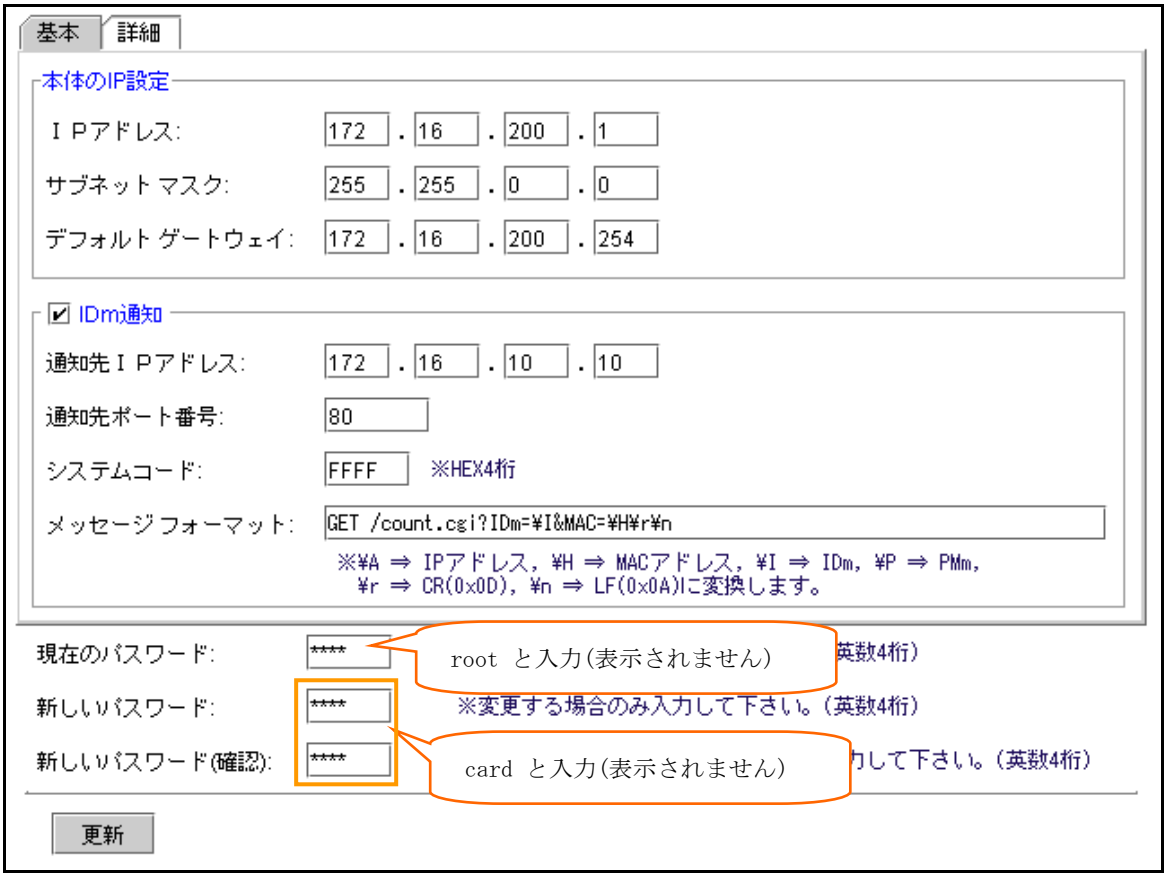
IP アドレス	192.168.1.123
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	指定しない
IDm 通知	チェックしない
パスワード	root（変更しない）



【設定例２】

IDm 通知モードに設定します。
本モードでは、本装置自身がカードの検出を行い、検出した IDm を指定のサーバーへ通知します。
この例では、解錠保持時間を 0 秒にする必要があります。
（設定スイッチの位置については、『２．１．各部の名称と機能』をご参照下さい）

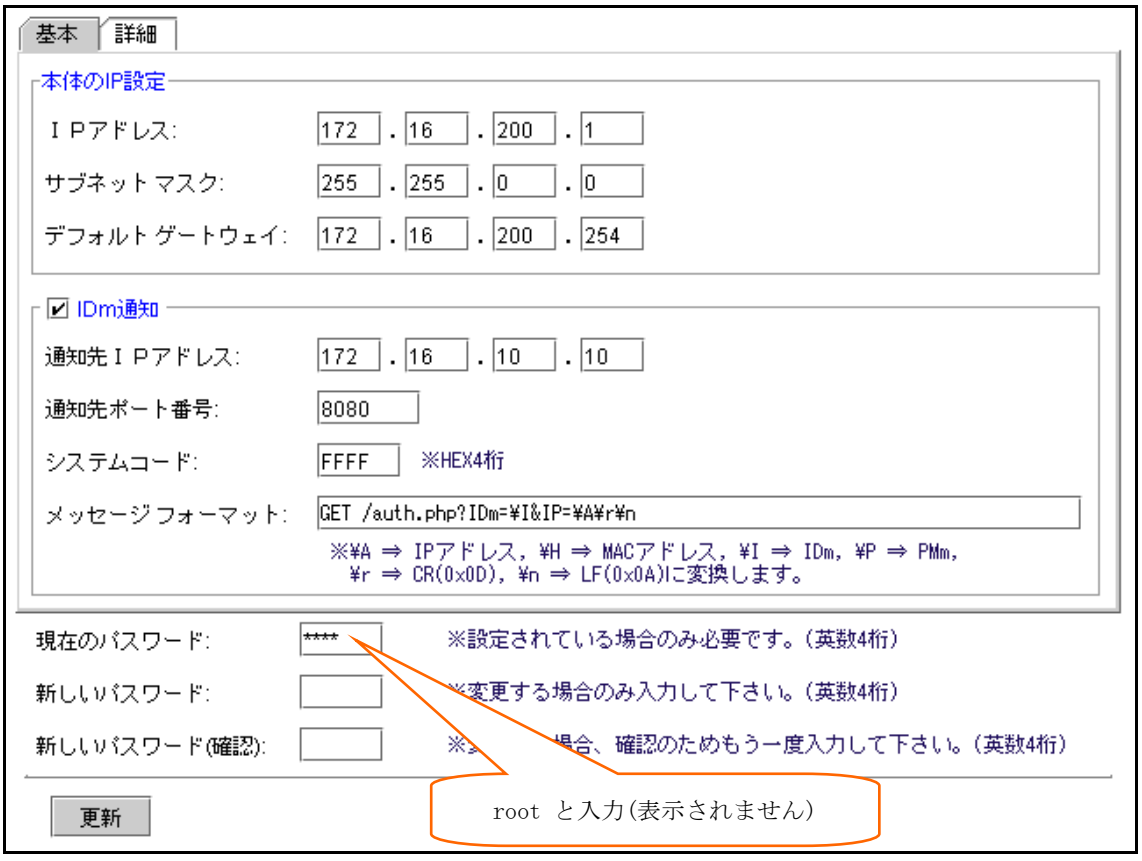
IP アドレス	172.16.200.1
サブネットマスク	255.255.0.0
デフォルトゲートウェイ	172.16.200.254
IDm 通知	チェックする
通知先 IP アドレス	172.16.10.10
通知先ポート番号	80
システムコード	0xFFFF（全カード対象）
メッセージフォーマット	GET /count.php?IDm=<カード IDm>&MAC=<MAC アドレス>＋改行 ※WEB サーバのカウント用 CGI へ IDm と MAC アドレスを通知
パスワード	root から card へ変更

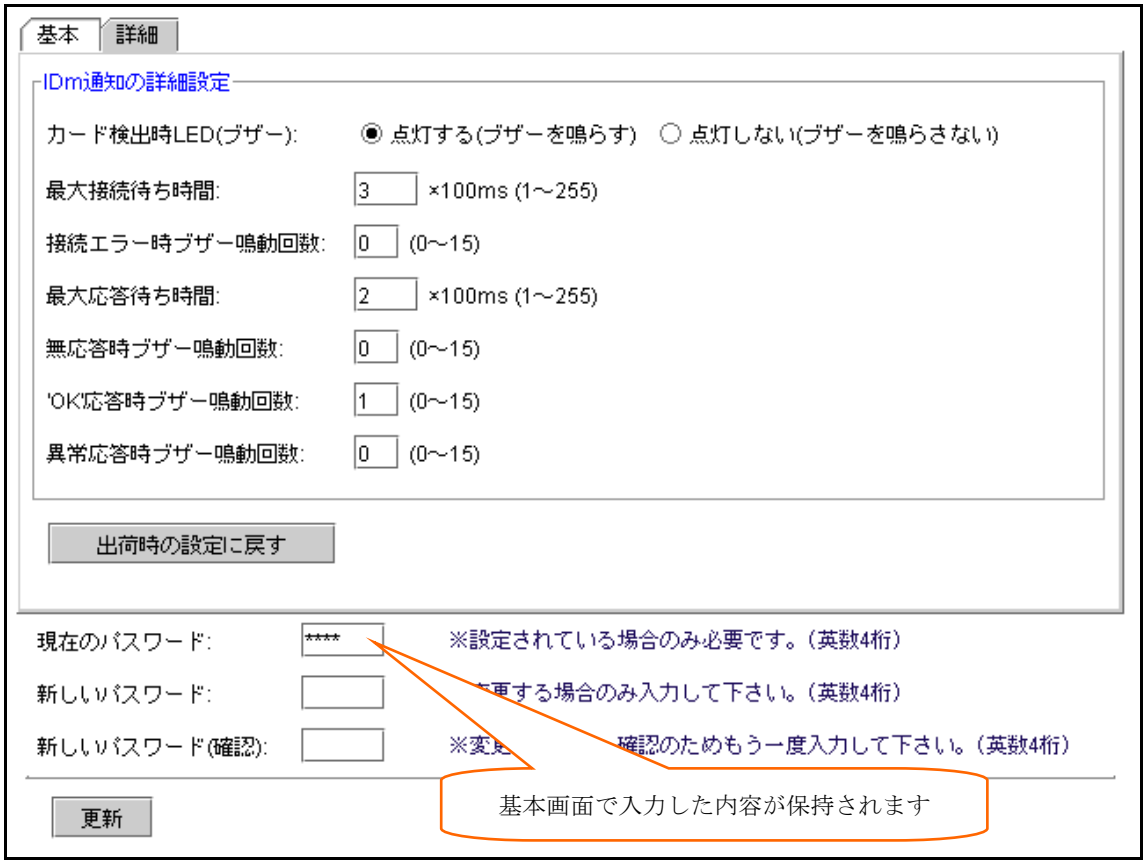


【設定例３】

IDm 通知モードに設定します。
本モードでは、本装置自身がカードの検出を行い、検出した IDm を指定のサーバーへ通知します。
サーバーから肯定応答があった場合のみ、解錠を行います。
この例では、解錠保持時間を 0 秒以外(10/20/30 秒)にする必要があります。
（設定スイッチの位置については、『２．１．各部の名称と機能』をご参照下さい）

IP アドレス	172.16.200.1
サブネットマスク	255.255.0.0
デフォルトゲートウェイ	172.16.200.254
IDm 通知	チェックする
通知先 IP アドレス	172.16.10.10
通知先ポート番号	8080
システムコード	0xFFFF（全カード対象）
メッセージフォーマット	GET /auth.php?IDm=<カード IDm>&IP=<IP アドレス>＋改行 ※WEB サーバの認証用 CGI へ IDm と IP アドレスを通知し、解錠許可の応答を貰う
カード検出時 LED	点灯しない
最大接続待ち時間	300ms
接続エラー時ブザー鳴動回数	0　※ブザー鳴動と解錠は連動しているので、0 を指定します。
最大応答待ち時間	200ms
無応答時ブザー鳴動回数	0　※ブザー鳴動と解錠は連動しているので、0 を指定します。
'OK'応答時ブザー鳴動回数	1　※ブザーを鳴らして解錠します。
異常応答時ブザー鳴動回数	0　※ブザー鳴動と解錠は連動しているので、0 を指定します。
パスワード	root（変更しない）





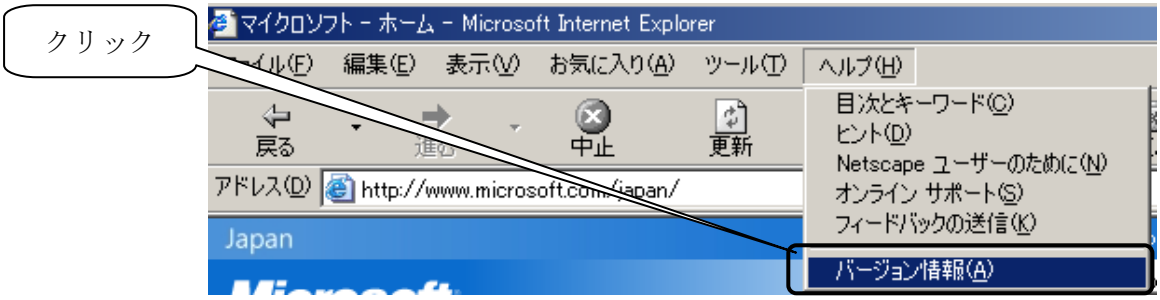
⚠ 注意	**パスワードは忘れないようにしてください。** **セキュリティ上の問題から弊社から直接パスワードをお教えすることは致しておりません。** **詳細につきましては弊社までお電話、E-MAIL にてお問合せください。**

④入力が終わったら、「更新」ボタンをクリックします。
⑤20 秒ほど待って Internet Explorer を終了します。
⑥AC アダプタをコンセントから外し、本製品の電源を切ります。
⑦20 秒ほど待って、AC アダプタをコンセントに接続します。
（※POWER ランプ点灯後、20 秒ほどで起動します。）
⑧PC の IP アドレスを先ほどメモした値に戻します。
⑨次回設定する場合は、設定した新しい IP アドレスを Internet Explorer から指定してください。

４．その他

４.１.InternetExplorer のバージョンを確認する

①コンピュータの管理者のアカウントでログオンします。
②InternetExplorer を起動します。
③「ヘルプ」メニューをクリックし、「バージョン情報」をクリックします。



④InternetExplorer のバージョン番号が「6.x.xxxx.xxxx」（x は任意の値）以上であることを確認します。

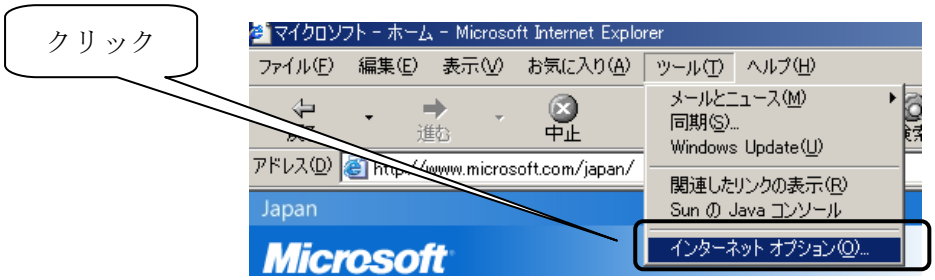
※バージョン番号が「5.x.xxxx.xxxx」以下の場合は、
以下のサイトからダウンロードしてください。
http://www.microsoft.com/japan/

４．２.Java のバージョンを確認する

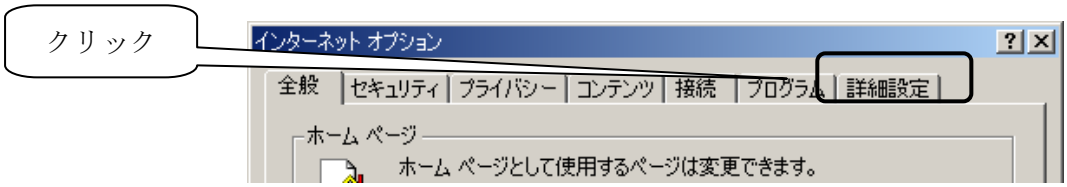
①コンピュータの管理者のアカウントでログオンします。

②InternetExplorer を起動します。

③「ツール」メニューをクリックし、「インターネットオプション」をクリックします。



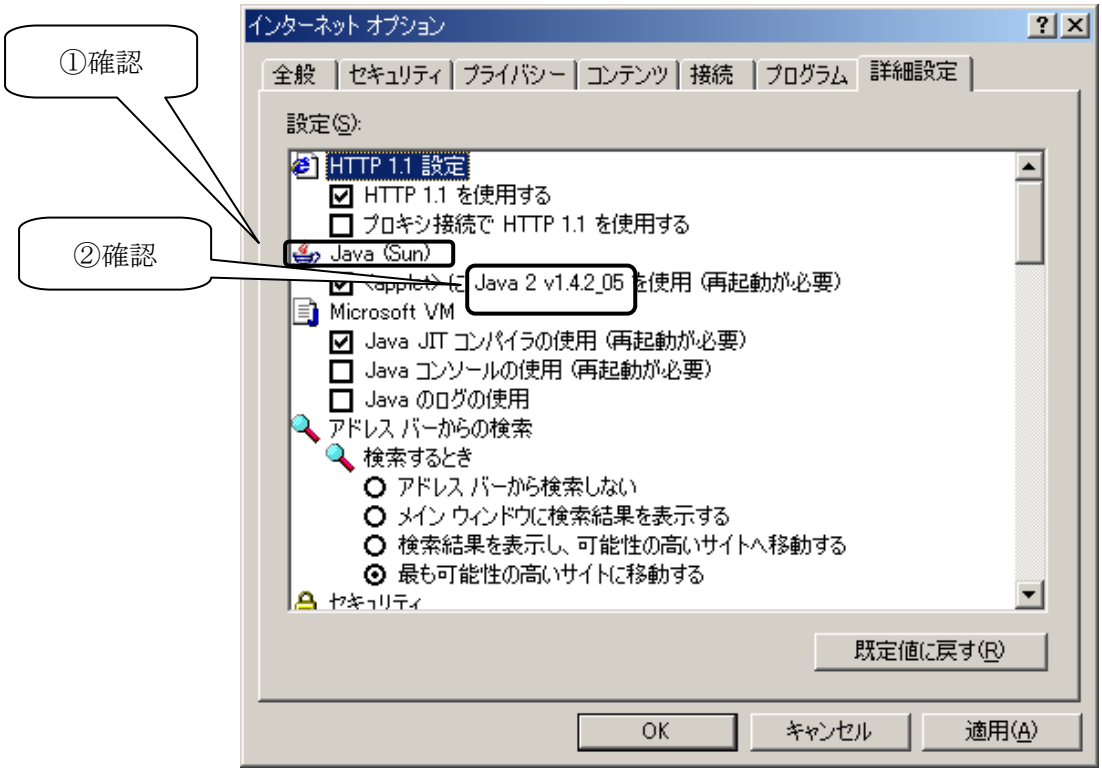
④「詳細設定」をクリックします。



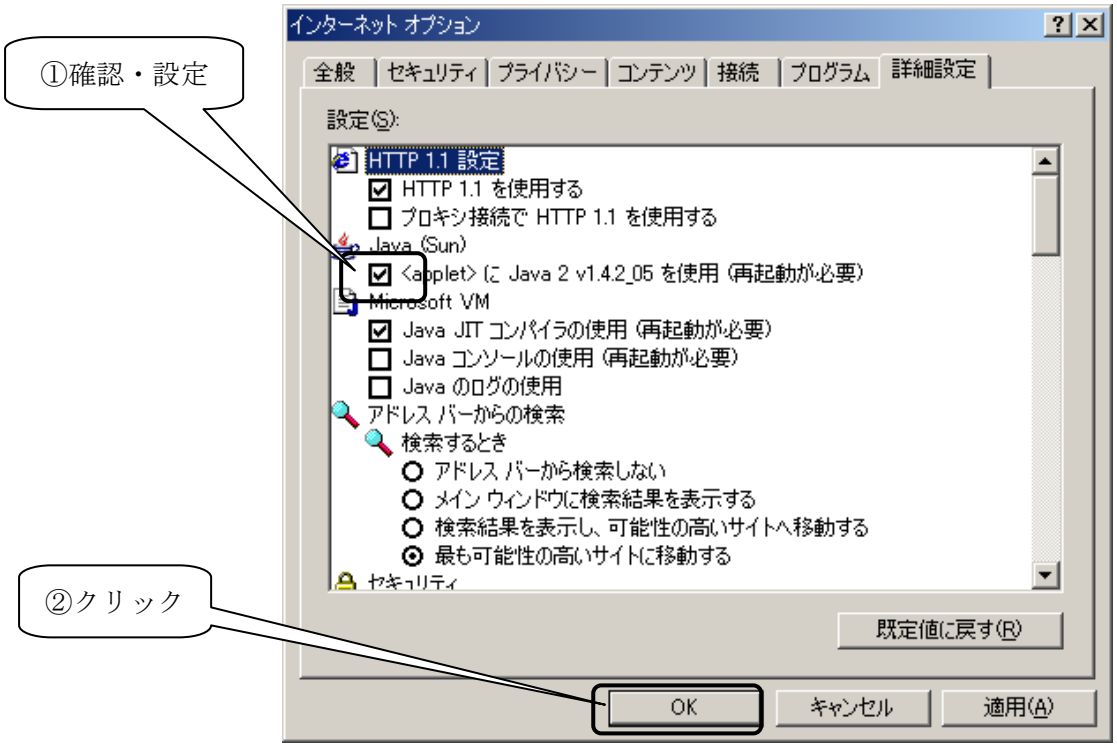
⑤「Java（Sun)」の項目があり、「Java 2 v1.4.1_02」以上であることと確認します。

※「Java（Sun)」の項目が無い、またはバージョン番号が「JAVA 2 v1.4.1_01」以下の場合は、以下のサイトからダウンロードしてください。

http://java.com/ja/



⑥「Java（Sun)」の項目にチェックが付いていることを確認します。
（チェックが無い場合は、チェックをして「OK」ボタンをクリックします。



４.３.動作モードについて

本製品には、「標準」と「IDm 通知」の２つの動作モードを備えています。
標準モードでは、カードの検出・読取り・書込みなどをネットワーク経由で接続されたコントロール装置（パソコン）から制御します。
(本製品はサーバーモードで動作します)

それに対して、IDm 通知モードでは、コントロール装置からの制御なしに、カードの検出を行います。検出されたカードの情報は指定のターゲットに TCP/IP で送信されます。
(本製品はクライアントモードで動作します)

４.３.１.IDm 通知モードへの切替

①解錠保持時間を 0 秒にする。

設定スイッチ(SW1)の No1 と No2 の両方を OFF にします。
（設定スイッチの位置については、『２．１.各部の名称と機能』をご参照下さい）
※IDm 通知モードのデフォルトの設定では、LED およびブザーをカード検出とエラーの通知に使用しているため、ドアの施錠・解錠は行えません。

②動作モードを IDm 通知モードに設定する。

Internet Explorer を起動して本製品の設定画面を表示し、動作モードを「IDm 通知」に設定します。
（設定の詳細については、『３．５.本製品の設定』をご参照下さい）

４.３.２.標準モードへの切替

①動作モードを標準モードに設定する。

Internet Explorer を起動して本製品の設定画面を表示し、動作モードを「標準」に設定します。
（設定の詳細については、『３．５.本製品の設定』をご参照下さい）

①解錠保持時間を設定する。

設定スイッチ(SW1)の No1 と No2 を使用して、開錠保持時間を設定します。
（設定スイッチの位置については、『２．１.各部の名称と機能』をご参照下さい）

５．困ったときは

症　　状	原　　因	処　　置
POWER ランプが点灯しない	●電源端子から電源線が外れていませんか。	●電源端子に電源線を接続してください。
	●電源線に電源は供給されていますか。	●電源線に電源を供給してください。
解錠ランプが点灯しない	●POWER ランプは点灯していますか。	●症状「POWER ランプが点灯しない」をご参照ください。
	●電気錠は接続されていますか。	●電気錠を接続してください。
	●電気錠の接続は正しいですか。	●電気錠を正しく接続してください。
	●接続している電気錠は推奨電気錠ですか。	●推奨電気錠を使用してください。 それ以外の電気錠を使用する場合はお買い上げの販売店までご相談ください。
LAN ポートのリンクランプが点灯しない	●POWER ランプは点灯していますか。	●症状「POWER ランプが点灯しない」をご参照ください。
	●本製品及び、接続されているハブ等、周辺機器の電源は切れていませんか。	●それぞれに付属のマニュアルに従い電源を入れてください。
	●本製品及び、接続されているハブ等、周辺機器の LAN ケーブルが外れていませんか。	●それぞれに付属のマニュアルに従い LAN ケーブルを接続してください。
	●使用している LAN ケーブルの極性(クロス・ストレート)は正しいですか。	●接続形態に合わせた LAN ケーブルをご使用ください。 本製品⇔PC ：クロスケーブル 本製品⇔ハブ：ストレートケーブル
外部の制御ができない	●POWER ランプは点灯していますか。	●症状「POWER ランプが点灯しない」をご参照ください。
	●本製品及び、接続されているハブ等、周辺機器の電源は切れていませんか。	●それぞれに付属のマニュアルに従い電源を入れてください。
	●本製品及び、接続されているハブ等、周辺機器の LAN ケーブルが外れていませんか。	●それぞれに付属のマニュアルに従い LAN ケーブルを接続してください。
	●使用している LAN ケーブルの極性(クロス・ストレート)は正しいですか。	●接続形態に合わせた LAN ケーブルをご使用ください。 本製品⇔PC ：クロスケーブル 本製品⇔ハブ：ストレートケーブル
	●本製品と外部機器を繋ぐケーブルが外れていませんか。	●外部出力ポートにケーブルを接続してください。
	●パソコン等のネットワーク設定は正しくされていますか。	●パソコン等に付属のマニュアルをご確認ください。

症　　状	原　　因	処　　置
通信ができない	●POWER ランプは点灯していますか。	●症状「POWER ランプが点灯しない」をご参照ください。
	●本製品及び、接続されているハブ等、周辺機器の電源は切れていませんか。	●それぞれに付属のマニュアルに従い電源を入れてください。
	●本製品及び、接続されているハブ等、周辺機器の LAN ケーブルが外れていませんか。	●それぞれに付属のマニュアルに従い LAN ケーブルを接続してください。
	●使用している LAN ケーブルの極性(クロス・ストレート)は正しいですか。	●接続形態に合わせた LAN ケーブルをご使用ください。 本製品⇔PC ：クロスケーブル 本製品⇔ハブ：ストレートケーブル
	●パソコン等のネットワーク設定は正しくされていますか。	●パソコン等に付属のマニュアルをご確認ください。
IP アドレスの設定画面が表示されない	●POWER ランプは点灯していますか。	●症状「POWER ランプが点灯しない」をご参照ください。
	●本製品及び、接続されているハブ等、周辺機器の電源は切れていませんか。	●それぞれに付属のマニュアルに従い電源を入れてください。
	●本製品及び、接続されているハブ等、周辺機器の LAN ケーブルが外れていませんか。	●それぞれに付属のマニュアルに従い LAN ケーブルを接続してください。
	●使用している LAN ケーブルの極性(クロス・ストレート)は正しいですか。	●接続形態に合わせた LAN ケーブルをご使用ください。 本製品⇔PC ：クロスケーブル 本製品⇔ハブ：ストレートケーブル
	●パソコン等のネットワーク設定は正しくされていますか。	●パソコン等に付属のマニュアルをご確認ください。
	●本製品に接続する IP アドレスは正しいですか。	●IP アドレスをご確認ください。
	●必要なソフトウェアがインストールされていますか。	●「４．その他」をご参照してソフトウェアがインストールされているか確認してください。 必要なソフトウェア ・Internet Explorer 6.0SP1 以上 ・Sun Java 1.4.1_02 以上

症　　状	原　　因	処　　置
カードの読み取り・書き込みができない	●POWER ランプは点灯していますか。	●症状「POWER ランプが点灯しない」をご参照ください。
	●カードが破損していませんか。	●別のカードを使用してください。
	●カードとカード読み取り部の距離が離れすぎていませんか。	●カードを読み取り部に近づけて使用してください。
	●カードがカード読み取り部からはみ出していませんか。	●カードを読み取り部に合わせて使用してください。
	●モーターの近く等、ノイズの多い場所で使用していませんか。	●設置場所をかえて使用してください。
	●使用しているカードは FeliCa ですか。	●FeliCa を使用してください。
	●使用しているカードは暗号無し FeliCa ですか。	●暗号無し FeliCa を使用してください。
IPアドレスを変更するためのパスワードを忘れてしまった		●弊社までお電話、E-MAIL にてお問合せください。 （セキュリティ上の問題から弊社から直接パスワードをお教えすることは致しておりません）

６．仕様

６.１.基本仕様

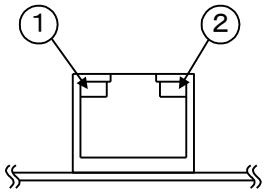
型番	ＮＥＴＣ－ＲＷ０５２	
対応カード	FeliCa※1	
通信距離(対カード)	30mm※2	
通信インタフェース	LAN ポート RJ-45 10BASE-T／100BASE-TX	
使用温度	-10℃ ～ +50℃	
使用湿度	30 ～ 80%(氷結･結露無きこと)	
電源供給	DC24V±10% max0.2A(電気錠接続時 max0.6A)	
ソレノイド出力	DC24V max0.4A	
錠モニタ端子 定格負荷	無電圧ａ接点	DC24V max0.5A
	無電圧ｂ接点	DC24V max0.5A
外形寸法	85(W)×120(H)×28(D)	
質量	140g（本体のみ）	
推奨電気錠	美和ロック株式会社　AUT/AUTA/AUR/AURA シリーズ	

※1 暗号無しカードのみリードライト対応です。

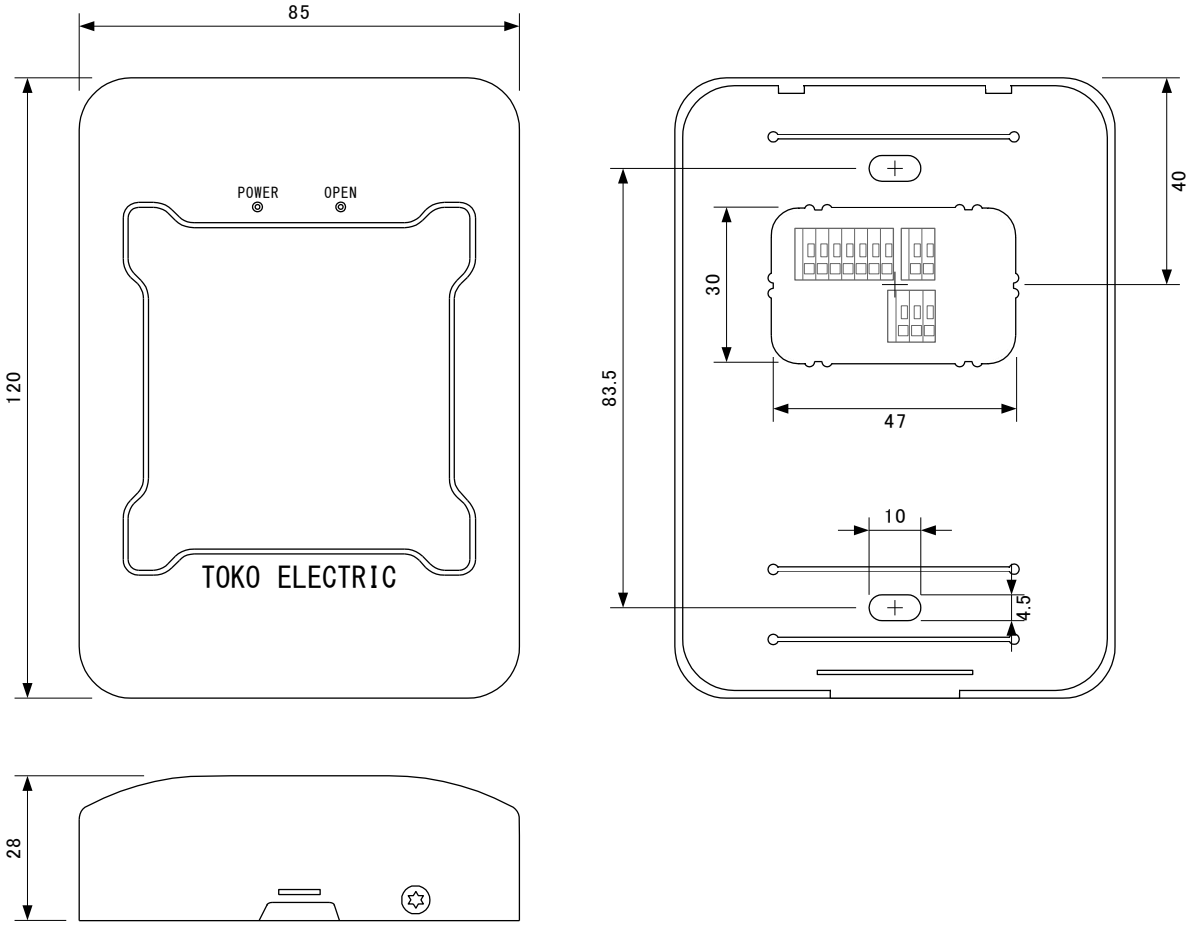
※2 通信距離は使用環境により異なります。周囲の電波や金属の影響がない理想的な環境の値です。

６.２.LAN ポートリンクランプ表示

①ＬＥＤ(左)	②ＬＥＤ(右)	状　　態
オフ		イーサネットの未接続
橙色の点灯		10Base-T での接続確立
緑色の点灯		100Base-TX での接続確立
	オフ	通信無し
	橙色の点滅	半２重での通信中(通信発生時のみ点灯)
	緑色の点滅	全２重での通信中(通信発生時のみ点灯)

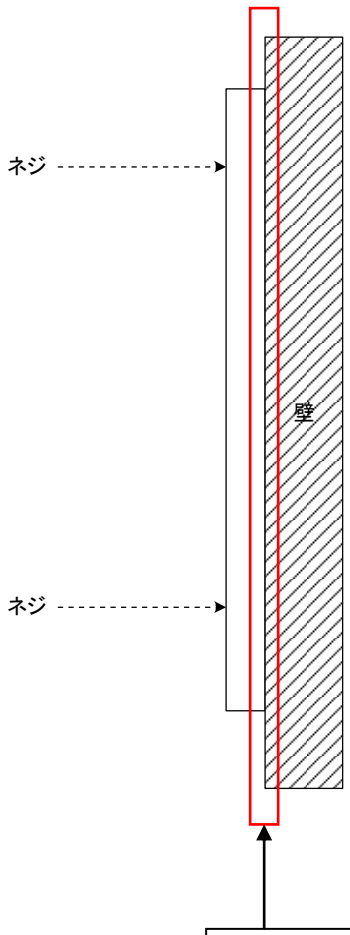


６.３.外形寸法



６.４.取り付け方法

(1)壁への取付け



●ネジの種類

Ｍ４　皿ネジ

※ 上記ネジ以外は使用しないで下さい。

●注意点

取り付けは、ケースと隙間のできないような平らな面にして下さい。
ケースが割れる恐れがありますので、強く締め付けすぎないようにして下さい。

隙間のできない、平らな面に取り付けをお願いします。

(2) ケース固定ネジ

ケース固定ネジはヘクサロビュラネジ（M2.6 SUS×7）を使用しています。

・推奨ドライバー

メーカー：ＨＯＺＡＮ

品名　　：**トルクスドライバー**

型式　　：D-720-5

７．保証とお問い合せ

７.１.保証・修理について

本製品の保障内容は、製品に添付されている「保証書」の「保証規定」に記載されています。製品をご使用になる前にご確認下さい。

７.２.お問い合せについて

本製品のお問い合せ先は、「７.４.お問い合せ先」または製品に添付されている「ご案内書」に記載されています。ご確認のうえ、弊社へご連絡下さい。

また、障害発生時には「７.３.障害発生時のサポートに必要な情報」に記載されている情報をご用意していただいたうえ、弊社へご連絡下さい。

７.３.障害発生時のサポートに必要な情報

①お客様の会社、ご担当者

②ご購入先

③ご連絡先

④購入日

⑤ご使用の機器のシリアル番号

シリアル番号は本体、または保証書に貼付されているシリアル番号シールに記載されています。

⑥お問い合わせ内容

どのような状況で症状が発生するのか、できる限り具体的（再現できるように）にお知らせ下さい。また、画面にエラーメッセージが表示される場合には、その内容をお知らせ下さい。

⑦ご使用されているネットワーク構成

７.４.お問い合せ先

■本製品に関する Web ページ

http://www.tktk.co.jp/product/energy/felica_touch-key/

連絡先

株式会社東光高岳	ｴﾈﾙｷﾞｰｿﾘｭｰｼｮﾝ事業本部　ｿﾘｭｰｼｮﾝ営業部 ソリューション営業グループ
電話	03-6371-4441
	月～金曜日　8:30～17:00（12:00～12:45 除く）
	※ 祝祭日、当社の休日を除く
FAX	03-6371-5441
E-Mail	rfid@tktk.co.jp

付録 A. IDm 通知モード

IDm 通知モードでは、コントロール装置からの制御なしに、カードの検出を行います。検出されたカードの情報は指定のターゲットに TCP/IP で送信されます。

付録 A.１.制御手順

IDm 通知モード時の制御手順を以下に示します。

（１） 電源 ON 後、本製品に組み込まれている制御部が FeliCa モジュール（カード R/W）に対して、一定間隔（100ms）でカードポーリングを開始します。

（２） 本機に FeliCa カードをかざすと、ポーリングに対して IDm が返送されてきます。

（３） 制御部は、IDm が返送されてくると、LED を点灯し①、あらかじめ指定されているホスト PC に TCP 接続を行い②メッセージを通知します。

（４） メッセージ通知後、一定時間（8 秒）以内に応答があれば③、LED を消灯④します。

（５） その後は、再度ポーリングを継続しながら、カードが離されるのを待ちます。

（６） カードが離されたら、電源 ON 後の状態に戻り、次のカードがかざされるのを待ちます。

①～④は、「IDm 通知の詳細設定」項目（３.５.本製品の設定を参照）に次の様に対応します。

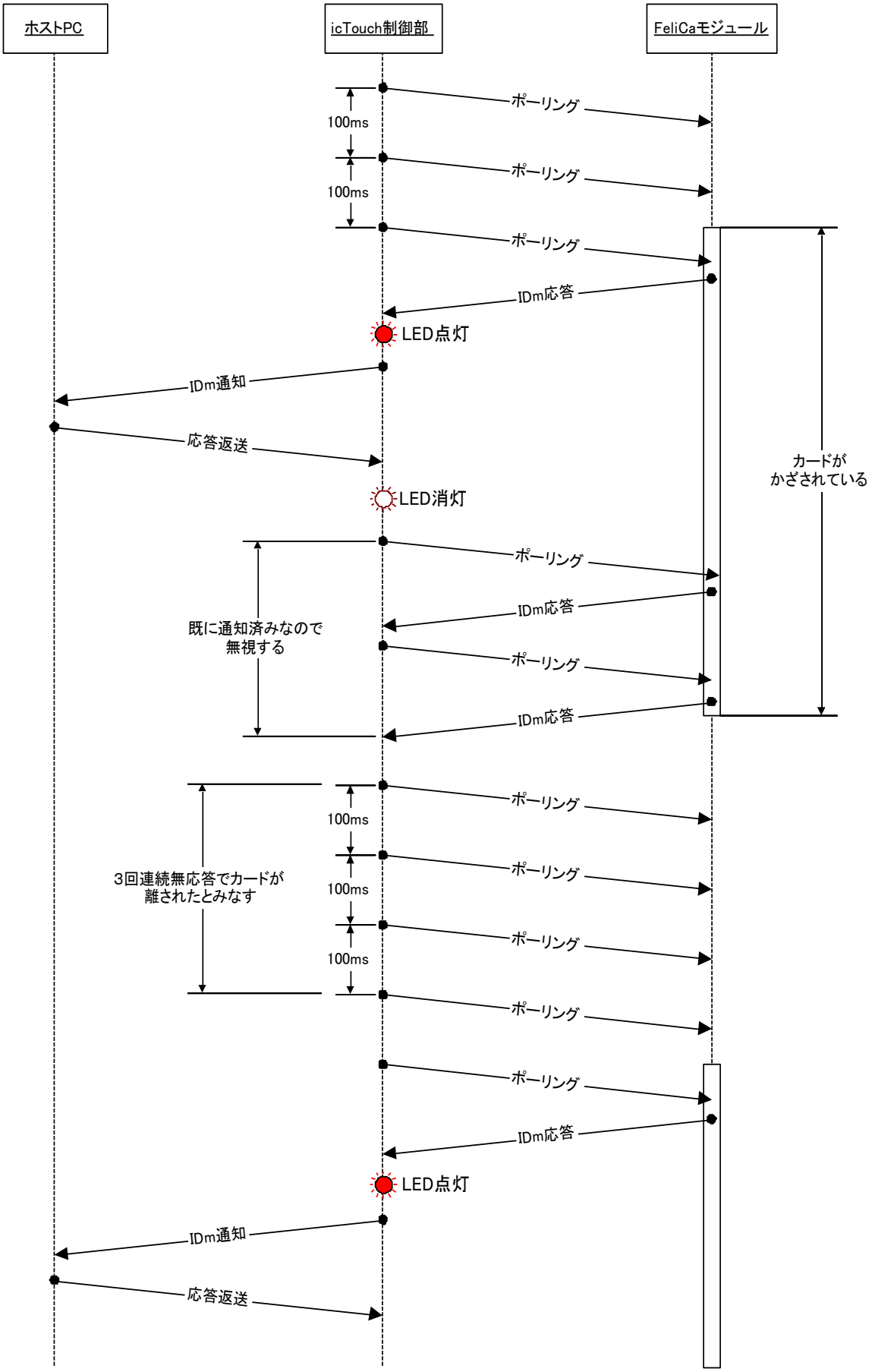
① カード検出時 LED(ブザー)を鳴らす／鳴らさない。

② 最大接続待ち時間と接続エラー時ブザー鳴動回数。

③ 最大応答待ち時間と無応答時ブザー鳴動回数

④ 'OK'応答時ブザー鳴動回数と異常応答時ブザー鳴動回数
（指定回数ブザーを鳴動させた後、LED を消灯します）

上記手順を図に表すと次の様になります。


ホストPC
icTouch制御部
FeliCaモジュール
ポーリング
100ms
ポーリング
100ms
ポーリング
IDm応答
LED点灯
IDm通知
応答返送
LED消灯
カードが
かざされている
ポーリング
既に通知済みなので
無視する
IDm応答
ポーリング
IDm応答
ポーリング
3回連続無応答でカードが
離されたとみなす
100ms
ポーリング
100ms
ポーリング
100ms
ポーリング
ポーリング
IDm応答
LED点灯
IDm通知
応答返送

付録 A.２.メッセージ通知と応答

カード検出時にホスト PC へ送信するメッセージには、半角の英数記号、空白文字および改行を指定できます。(最大 125 文字)

また、メッセージ中の以下のマクロは、送信時に特定の値に置換されます。

(置換後の文字列の最大長は 256 文字)

¥A	本製品の IP アドレス（ドット区切り 10 進表記）
¥H	本製品の MAC アドレス（16 進数 12 桁）
¥I	検出したカードの IDm（16 進数 16 桁）
¥P	検出したカードの PMm（16 進数 16 桁）
¥r	CR（復帰、0x0D）
¥n	LF（改行、0x0A）
¥¥	¥（円記号、0x5C）

以下にマクロを使用した例を示します。

IP アドレス： 192.168.1.200

MAC アドレス： 00-11-22-33-44-55

カード IDm： 0123456789ABCDEF

カード PMm： FEDCBA9876543210

【例１】

メッセージ定義： MAC:¥H,IDm:¥I

実際に送信される文字列： MAC:001122334455,IDm:0123456789ABCDEF

【例２】

メッセージ定義： GET /count.cgi?IDm=¥I&IP=¥A¥r¥n

実際に送信される文字列： GET /count.cgi?IDm=0123456789ABCDEF&IP=192.168.1.200

※行末に改行（CR/LF）が付加されます。

ホスト PC へメッセージを送信した後は、応答として CR（復帰、0x0D）または LF（改行、0x0A）を待ちます。

また、応答メッセージの行頭から 2 文字が、'OK'(小文字も可)だった場合には肯定応答、それ以外の場合は否定応答と判断します。

付録 A.３.エラー通知

次の場合、エラーとしてブザーを鳴動します。

・一定時間以内（10 秒）にホスト PC へメッセージを通知できなかった。
　⇒エラー音 2 回

・メッセージ通知後、一定時間（8 秒）経過しても、ホスト PC から応答がなかった。
　⇒エラー音 3 回

上記の設定は、デフォルト値であり、任意に変更できます。
詳細は、「３.５.本製品の設定」を参照。